**□人生100年時代を迎えている日本人にとって、平均寿命は84歳と世界1、2位を競っています。これから私たちが目指すのは健康で長生き、健康寿命の延伸です。**

**野菜・果物の店頭表示はもっと豊かにできます**

～あなたのお店も野菜・果物売場のPOP表示実験に参加しませんか～

**その中で、野菜・果物の摂取量が減ってきていることは残念なことです。一般的な野菜・果物の健康に寄与する働きを消費者に知らせることができれば、いま以上に野菜・果物の消費が増加し、ひいては健康にもつながると、私たちは考えています。**

**□しかしながら、現在「農産物の機能性表示制度」が2015年にできたことによって、**

**一般には消費者庁に届出された農産物しか、機能性の表示ができなくなったと思われて**

**います。**

**□このような状況に対応するために、私たち一般財団法人日本ヘルスケア協会では、内閣**

**官房の「サンドボックス制度」（一般的な、届出されていない農産物の機能性＜はたら**

**き＞を表示することによって、消費者が有効的な選択をすることができ、それが生産者**

**の栽培意欲の向上にもつながり、流通改善にもつながることができるよう、現行制度を**

**見直す国の仕組み）に応募し、2年半がかりで農水省ならびに消費者庁から実証実験を**

**行うことを認定されました。**

**□私たちは、その実証実験を日本各地の量販店、小売店等で行いたいと考えています。**

**具体的には、野菜・果物本来のはたらきをPOP等に表示し、消費者、売場担当者の**

**方々の意見を伺い、将来、日常的に野菜・果物の情報を消費者にお届けできるように**

**したいと考えます。**

**□この趣旨に賛同し、実証実験に参画いただける企業を募っています。量販店、小売業**

**等の中で、応募いただける企業・店舗等の皆様は、添付の書面にてお申込みください。**

**衷心よりご協力をお願いいたします。**

**2021年2月吉日**

**（一財）日本ヘルスケア協会「野菜で健康推進部会」部会長　丹羽真清**